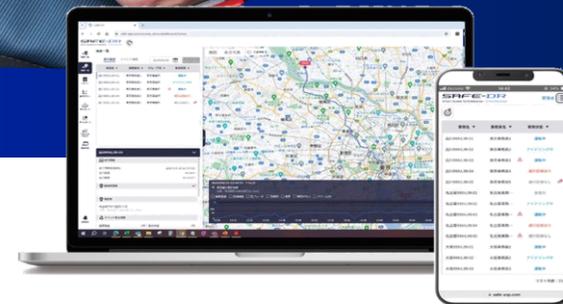
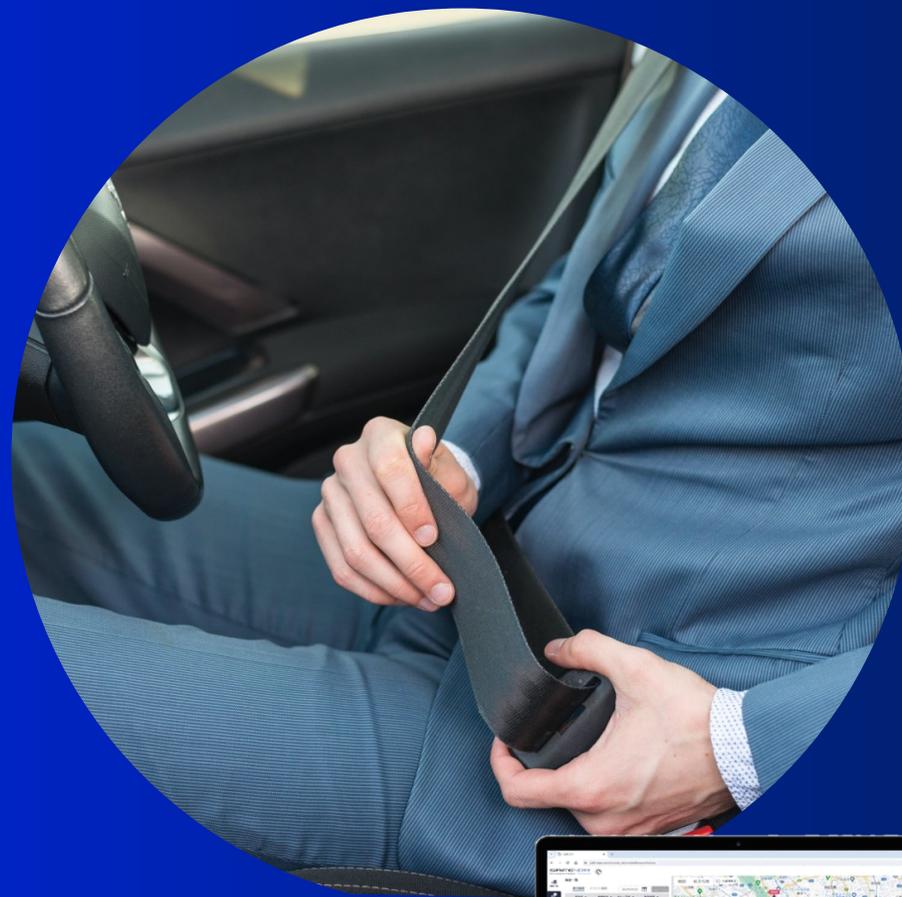


安全運転管理者必見！

3分でわかる！

実態を把握し後退事故ゼロをめざす、
運転行動の改善策



事故削減をするための課題

- 01 危険運転を把握したい
- 02 バック(後退)時の事故を削減したい



**SAFE-DRなら
事故削減でドライバーを守りコストダウン
を図れます！**

SAFE-DR
Smart Access for Enterprise - Drive Recorder

ドライバーの危険運転をデータで把握。より有効な運転指導をサポートし、ドライバーの安全運転意識を高めます。

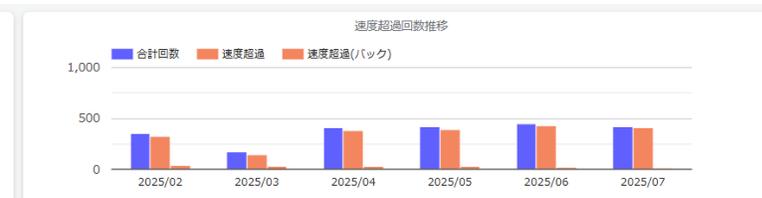
SAFE-DR で事故削減

課題 01 危険運転を把握したい

危険運転をダッシュボード機能(危険運転)で全体的に把握

ダッシュボード機能(危険運転)

- 乗務員毎・車両毎の運行データを自動で集約し、危険運転の発生場所やイベント多発生ランキングをドライバー毎に集計し一覧で表示することができます。



乗務員名	急操作回数	急加減速	急ブレーキ	急旋回	急バック
1 名古屋乗務員2	13	2	7	0	4
2 大阪乗務員3	11	0	2	6	3
3 名古屋乗務員3	7	3	2	0	2
4 大阪乗務員1	5	0	0	3	2
5 広島乗務員1	4	0	1	1	2
6 大阪乗務員2	1	0	1	0	0

乗務員名	速度超過回数	速度超過	速度超過(バック)
1 名古屋乗務員3	25	23	2
2 東京乗務員2	19	19	0
3 広島乗務員1	18	17	1
4 北海道乗務員1	16	16	0
5 名古屋乗務員4	15	14	1
6 大阪乗務員3	13	12	1

SAFE-DR で事故削減

課題 01 危険運転を把握したい

▶ **ドライバー個別で把握したい場合はイベント履歴で状況確認を行い、必要に応じて動画で確認**

イベント履歴

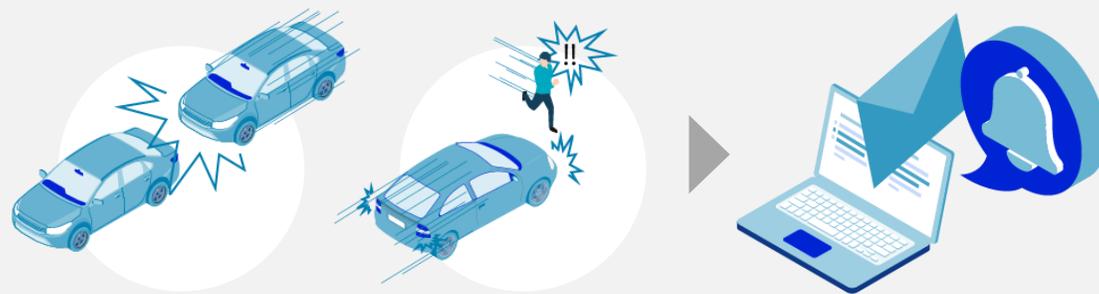
- 危険運転などのイベントは、リアルタイムに管理画面上で発生場所や速度などを確認することが可能です。

発生時刻	イベント種別	車両名	グループ名
17:04:42	緊急ボタン	CF4品川1999人99-03	東京事業所
17:03:10	急バック	CF4品川1999人99-03	東京事業所
17:02:33	携帯電話使用	CF4品川1999人99-03	東京事業所
16:45:05	アラームIN	CF4品川1999人99-03	東京事業所
15:40:03	急ブレーキ	CF4品川1999人99-03	東京事業所
15:32:04	急加速	CF4品川1999人99-03	東京事業所
15:26:07	急減速	CF4品川1999人99-03	東京事業所
15:17:12	急ブレーキ	CF4品川1999人99-03	東京事業所
14:51:31	急ブレーキ	CF4品川1999人99-03	東京事業所
14:22:15	一時停止違反	CF4品川1999人99-03	東京事業所

【検知できるイベント種類】

- 急加速
- 急旋回
- 速度超過
- 急ブレーキ
- 衝撃
- 緊急ボタン

これらのイベントは発生時に管理者に対して、イベントメールとしてメール通知が可能です。



SAFE-DR で事故削減

課題 01 危険運転を把握したい

▶ **ドライバー個別で把握したい場合はイベント履歴で状況確認を行い、必要に応じて動画で確認**

動画取得

- イベント一覧では確認できない詳細な情報を、動画取得を行うことで管理画面上、または専用ビューアソフトで確認することができます。
- 専用ビューアソフトでは、発生したイベントの分析や動画のモザイク加工も可能となっています。



管理画面



(CF-2000用) 専用ビューアソフト

課題 01 危険運転を把握したい

運行データから危険運転を可視化

導入による効果

ダッシュボードやイベント動画で危険運転を把握し共有することで・・・

- 危険運転が発生しやすい場所の共有が図れる
- 運転の問題点やくせを抽出して優良ドライバー育成をサポート

の効果が期待できます！



SAFE-DR で事故削減

課題 02 バック(後退)時の事故を削減したい

▶ バック診断機能を検知しイベント通知をすることで、バック事故を撲滅

トラックの事故の多くはバック時に発生しています。主な原因は「後方安全不確認」、「思い込み」などの慣れや油断です。バック診断機能はこの課題を解決します。

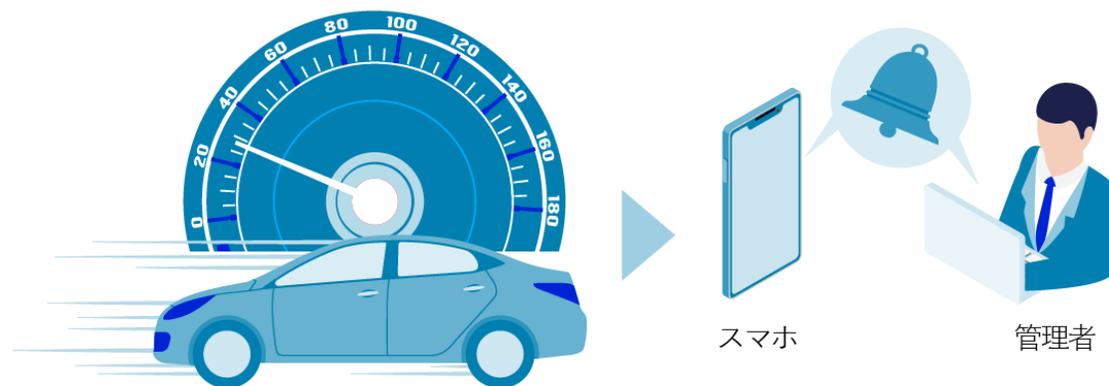
バック診断機能【3秒ルール検知】

- 「バック3秒ルール」は、自車の後方だけではなく、周囲の安全確認を目視で最低3秒かけて行ったのち、動き出すというものです。
- SAFE-DRでは、バックギアにシフトチェンジしてから3秒以内に後退すると、イベントとして検知し通知する機能があり、この検知を行うことで、ドライバーに後方安全確認の意識を高めさせることが可能です。



バック診断機能【バック速度超過検知】

- SAFE-DRでは、前進する車両の速度検知だけではなく、バック時の速度もイベント検知が可能です。速度を検知することで事故を未然に防ぎます。



SAFE-DR で事故削減

課題 02 バック(後退)時の事故を削減したい

バック診断機能が乗務員の油断を通知

導入による効果

バック診断機能を使用することで・・・

- 後方確認の意識を高める
- 自車の後方だけではなく周囲の目視を意識づける
- 事故が減ることで保険料の削減につながる

の効果が期待できます！



はたらくクルマと、 未来へ

安心・安全・快適を叶えるソリューションの提供で働くクルマ
を使う全ての人の未来を拓く

SAFE-DR

Smart Access for Enterprise - Drive Recorder

まずは気軽にお問い合わせください。



料金や導入に関する無料相談はこちら



clarion
Lifecycle Solutions

クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社
ホームページ：<https://www.clarion.com/>

FORVIA

▪ faurecia